

### ◎2013年3月期中間決算概況(スライド3~9)

- ・2013年3月期中間連結業績は売上高161億円(前年同期比+8.3%)、営業利益6.9億円(同+0.7%)。
- ・売上高については、イービジネスサービス事業は微増収となったが、ソリューション事業が同+18%増収となった。ソフトバンクグループ向けのハードウェア販売が増収に寄与。顧客別売上高については、EC販売(個人向け中心)は減収。しかし、ソフトバンクグループ向け、ソフトバンクグループ外向けがとも二桁増収となった。
- ・営業利益については、売上増によって売上総利益が1.7億円増加したものの、従業員数の増加による固定費の増加により相殺された。セグメント別ではイービジネスサービス事業が減益となったものの、ソリューション事業の増収効果によりこれを補ってほぼ横ばい。

### ◎事業の概況(スライド10~19)

#### イービジネスサービス事業

- ・2013年3月期中間決算では、EC-BPOは主力のシマンテックストアは増収となったが、その他分野は減収。
- ・シマンテックストアでは、2012年10月末にWindows8の販売開始に伴うPCの買い替え需要の拡大に期待。
- ・Web MarketingはWebアクセス解析ツールであるAdobeSitecatalystの販売増に加えて、解析データを基にしたコンサルティングサービスであるSIGNALが好調に推移し、足元では二桁増収ペースで進捗。

#### ソリューション事業

- ・Microsoft・Solutionでは、クラウドサービスであるOffice365の販売が好調。これに伴い、自社サービスの機器認証サービス、OSG(Online Service Gate)の販売も増加している。これを背景に、Microsoft・Solutionには戦略的に人材をシフトし、拡販に努めている。
- ・ハードウェアの分野はSuperMicroの省電力サーバ、Alcatel-Lucentのギガスイッチの販売が好調に推移。
- ・100%子会社であるM-Solutionsが手掛けるモバイル分野についても、安否確認システムや営業支援ツールなどスマートフォン向けアプリケーションの開発が着々と進んでいる。

### ◎経営概況(スライド20~25)

- ・社員の活性化については、40代前半の執行役員が3人となり、30代の管理職が20名増加するなど組織の若返りが進行中。
- ・従業員数は10月時点で474名と3月末比較で48名増加。採用活動については今後も積極的に行う方針。
- ・最先端ITの導入については、上半期までに業績をリアルタイムに把握できるBIツールであるQlikViewとテレビ電話の会議システムであるLyncを導入した。下半期にはエンジニア向けにVDI(Thin Client)環境の整備、Notesという社内文書管理システムの刷新を行う。
- ・ソフトバンクグループとの連携強化を目的に、汐留に新オフィスを開設。
- ・No.1の事業領域の創出に関しては、Alcatel-Lucentとの代理店契約、SuperMicroの新製品販売によりビックデータ分野に必要なハードウェアは確保した。またこのハードウェアを制御する技術者の育成、そのデータを活用するBIツールの拡充も進んでいる。これらを生かしてビックデータ分野を今後伸ばしていく方針。

### ◎2013年3月期業績予想(スライド26~27)

- ・売上高330億円(前期比+2.5%)、営業利益は16.5億円(同+3.5%)を計画。上半期の業績が当初計画を上回ったことに加えて最近の業績動向を反映。